

## 特集にあたって

## ——新興途上国地域の治安問題と研究の可能性——

近田 亮平

一部の新興途上国地域では、日常的な治安（public security）の悪さが深刻な社会問題となっている。新興途上国地域の治安問題は多くの場合、現地の貧困、麻薬などの犯罪組織、警察力の不備や政府の対策不足、身分制をはじめとする社会の伝統的な制度や慣習、急激な都市化や人口移動などに起因している。また、テロ活動や紛争の頻発により、以前は非日常的だった治安の悪さが日常化している国や地域もある。そのため各国地域の治安をめぐる問題はそれぞれ異なるとともに、その状況や要因には固有なものが存在する。

治安に関する研究は、状況の劣悪な国や地域を対象として、現地の研究者により行われることが多い。ただし、フィールド調査での危険性が高いことや、治安の劣悪さを示す犯罪や行為の測定が難しいことから、データの入手や異なる国・地域間での比較が困難である。治安研究はこのように実施可能性に問題があり、特に外国人研究者にとって追究し難い分野だといえる。そのため日本国内では、政治学をベースとした紛争や平和構築、現地調査による都市や貧困などに関する研究は行われてきたが、日々の治安問題を直接的な対象とした研究はほとんど行われていない。

一方、「巻頭エッセイ」で指摘されるように、グローバル経済の拡大とともに新興途上国地域の治安が悪化している。そのため、同地域を訪問する人や進出する企業をはじめ、日本国内の治安問題への関心は高い。しかし、新興途上国地域の治安をめぐる問題は、マスコミや政府による犯罪件数などの情報の域にとどまっており、日本において研究の余地や可能性のあるテーマだといえる。

本特集では新興途上国のなかから、メキシコ、ベネズエラ、ブラジル、南アフリカ、インドの5カ国を事例として取り上げる。これら

の対象国の選択は、以下に概観する経済規模や治安状況の国際比較、および、研究者の関心にもとづいている。本特集全体を通しての目的は、新興途上国地域の治安問題が各国地域により多様であることを示し、特に日本における治安研究の可能性を提示することである。

## ●対象国地域の国際比較

治安状況を示す指標には様々なものがあるが、ここでは国際比較が可能な殺人と強盗に関する国連薬物犯罪事務所（UNODC）のデータを用いて、対象国地域の治安状況を把握する。なお同データの殺人（Intentional Homicide）は、他者により意図的にもたらされた非合法的な死亡を意味する。強盗（Robbery）は、暴力または暴力的な脅しにより人から所有物を盗むことを意味する。また発生率に関しては、殺人と強盗ともに人口10万人あたりの発生件数（単位は件）である。

その際、犯罪の発生と経済的な格差に相関関係があるとされることから（参考文献①）、はじめに経済の規模や格差の点から対象諸国を世界主要国と比較する（表1）。

表1 経済に関する国際比較

順位	国名	GDP (億ドル)	1人あたり GDP(ドル)	順位	人口 (100万人)	順位	ジニ 係数	地域	調査年
1	米国	18,037	56,084	7	322	3	41.1	北米	2013
2	中国	11,182	8,141	76	1,374	1	42.2	東アジア	2012
3	日本	4,124	32,479	26	127	10	32.1	東アジア	2008
4	ドイツ	3,365	40,952	20	82	16	30.1	西欧	2011
5	英国	2,858	43,902	15	65	21	32.6	西欧	2012
6	フランス	2,420	37,653	23	64	22	33.1	西欧	2012
7	インド	2,073	1,604	143	1,293	2	35.2	南アジア	2011
8	イタリア	1,816	29,867	28	61	23	35.2	西欧	2012
9	ブラジル	1,773	8,670	73	205	5	51.5	南米	2014
10	カナダ	1,551	43,280	17	36	37	33.7	北米	2010
15	メキシコ	1,144	9,452	65	121	11	48.2	中米	2014
33	南アフリカ	315	5,727	92	55	24	63.4	南部ア	2011
43	ベネズエラ	260	8,494	74	31	45	46.9	南米	2006

（注）順位は188カ国中のもので、中国は香港とマカオを除いた数値。地域の「ア」はアフリカ、網掛けは本特集の対象国、太字はラテンアメリカを示す（表2と3も同じ）。

（出所）ジニ係数はThe World Bank（<http://databank.worldbank.org/Data/>）、それ以外（2015年時点）はIMF（<http://www.imf.org/external/ns/cs.aspx?id=28>）。

国および1人あたりGDP（名目）と人口の観点から、若干の差異はあるが対象5カ国とも規模的に新興途上国だといえよう。所得格差を示すジニ係数に関して、データの入手が困難なため同年の比較ではないが、南アフリカが突出しており、ブラジル、メキシコ、ベネズエラも格差の大きい国である。南アフリカは植民地や人種差別政策、ラテンアメリカ・カリブ地域（以下、ラテンアメリカ）も植民地や奴隷制の関連から社会経済的な不平等の大きい地域として知られており、この傾向は所得格差にも表れている。

殺人に関して、発生件数で本特集の対象国がトップをほぼ独占している（表2）。発生率は人口が少ない国ほど発生一件の影響が大きい、人口の比較的多いベネズエラ（2位）や南アフリカ（9位）、2億人以上のブラジル（14位）が上位に入っている。強盗に関して（ベ

ネズエラと南アフリカはデータなし）、発生件数でブラジルとメキシコが1位と2位を占め、インドも人口が約13億人と多いため17位であった。発生率では、人口規模が大きいにもかかわらずメキシコとブラジルが5位と7位にランクした（表3）。

本特集では、殺人発生件数の多さ、経済的な規模や格差、地域的なバランスを考慮に入れ、ラテンアメリカの3カ国、南アフリカ、インドを対象国とした。

## ●治安研究の可能性

本特集の5つの事例から、新興途上国地域の治安をめぐる問題が多様なことを理解できよう。何を治安の問題として取り上げ、どのような研究が可能であるかを提示する本特集は、日本人研究者による新興途上国地域の治安研究の試論と位置づけられる。

政府と麻薬カルテルの対立が激化したメキシコについては、反体制的な音楽作品の歌詞を分析する研究が試みられる。ベネズエラに関しては、経済社会的要因より政治的な要因に焦点を当てた治安研究の可能性が示される。ブラジルでは、日本の交番を模範に導入された治安対策を対象とした研究案が提示される。南アフリカにおいては、民間のセキュリティ産業と自警団という非国家主体による治安対策活動が取り上げられる。インドでは、公刊統計にもとづく旧来の社会慣行が治安状況に与える影響の分析が試みられる。

新興途上国地域の治安を研究することは困難であり、特に日本人にとって障壁は高い。しかし、本特集が示すように治安をめぐる問題は多岐にわたり、その研究の分野や方法も多様であり、我々が行える発展的な治安研究の可能性は少なくないといえよう。

（こんた りょうへい／アジア経済研究所 ラテンアメリカ研究グループ）

## 《参考文献》

- ① Fajnzylber, Pablo, Daniel Lederman and Norman Loayza, "Inequality and Violent Crime," *Journal of Law and Economics*, 45 (1): 1-40, April, 2002.

表2 殺人に関するデータの国際比較：2012年

順位	国名	件数	地域	順位	国名	発生率	地域
1	ブラジル	48,232	南米	1	ホンジュラス	92.7	中米
2	インド	43,355	南アジア	2	ベネズエラ	53.8	南米
3	メキシコ	25,967	中米	3	ベリーズ	43.1	中米
4	ナイジェリア	17,059	西ア	4	エルサルバドル	42.7	中米
5	南アフリカ	16,259	南部ア	5	ジャマイカ	39.8	カリブ
6	ベネズエラ	16,072	南米	6	セントクリストファー・ネイビス	33.6	カリブ
7	米国	14,827	北米	7	グアテマラ	33.5	中米
8	コロンビア	14,670	南米	8	コロンビア	31.3	南米
9	パキスタン	13,846	南アジア	9	南アフリカ	30.8	南部ア
10	ロシア	13,120	東欧	10	バハマ	29.8	カリブ
71	日本	428	東アジア	14	ブラジル	23.8	南米
				26	メキシコ	21.3	中米
				86	米国	4.7	北米
				95	インド	3.4	南アジア
				162	日本	0.3	東アジア

（注）順位は2012年時点168カ国中のもの。

（出所）各国の司法当局や国際刑事警察機構（ICPO: Interpol）などのデータをもとにした UNODC (<https://data.unodc.org/>) の統計。

表3 強盗に関するデータの国際比較：2013年

順位	国名	件数	地域	順位	国名	発生率	地域
1	ブラジル	1,012,504	南米	1	ベルギー	1,616.1	西欧
2	メキシコ	728,762	中米	2	コスタリカ	1,018.9	中米
3	米国	345,093	北米	3	カーボ・ベルデ	763.7	西ア
4	ベルギー	180,249	西欧	4	エクアドル	601.5	南米
5	フランス	124,657	西欧	5	メキシコ	588.9	中米
6	エクアドル	94,209	南米	6	チリ	529.5	南米
7	コロンビア	93,442	南米	7	ブラジル	495.7	南米
8	チリ	93,062	南米	8	ウルグアイ	490.6	南米
9	ロシア	92,069	東欧	9	パラグアイ	274.0	南米
10	スペイン	86,034	西欧	10	ペルー	261.3	南米
17	インド	36,466	南アジア	33	米国	108.8	北米
45	日本	3,324	東アジア	89	インド	2.9	南アジア
				91	日本	2.6	東アジア

（注）ベネズエラと南アフリカはデータなし。順位は98カ国中のもの。

（出所）表2と同じ。